



シーシーエスの“自然光 LED”が初めて照らす當麻寺伽藍三堂 ～1300年の時を超え、生き生きと映し出されるみほとけ～

シーシーエス株式会社（本社：京都市上京区 代表執行役社長 各務嘉郎）が開発した超高演色性 LED である“自然光 LED”を光源とする美術館・博物館用 LED スポット照明「MUSEUM COB SPOT LIGHT」が、2013年4月6日～2013年6月2日に當麻寺（奈良県葛城市）で開催される特別拝観の展示用照明として採用されることが決定いたしました。

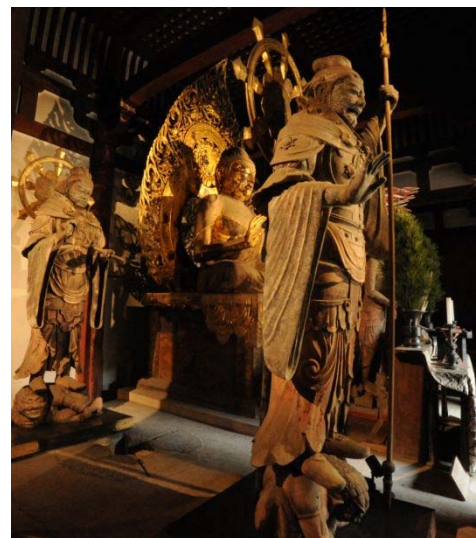
今回の企画は、奈良国立博物館（奈良県奈良市、館長 湯山賢一）の當麻曼荼羅完成 1250 年記念特別展「當麻寺－極楽浄土へのあこがれ－」と同時開催される春の特別拝観です。

当社の“自然光 LED”は太陽の下での自然の光に非常に近いという特性があり、紫色から赤色までの全ての可視光を含んでいます。今回採用いただく照明は、色の再現性を示す平均演色評価数^{※1}は、Ra96 と LED 照明業界における最高水準を実現しており、展示品本来の色を忠実に再現します。

當麻寺は飛鳥時代に創建され、白鳳・天平様式の大伽藍を有しており、金堂の弥勒仏や四天王などの白鳳美術をはじめとした歴史的に重要な寺宝・文化財を収蔵しています。今回の特別拝観は「灯り荘厳～LED で拝する當麻寺のみほとけ」と題し、伽藍三堂（本堂、金堂、講堂）の堂内に初めて LED 照明が設置されます。本堂の當麻曼荼羅厨子（国宝、写真左下）や金堂の弥勒仏坐像（国宝、写真右下）などが“自然光 LED”に照らし出され、暗いお堂の中では見ることはできなかった「當麻寺のみほとけ」の新たな表情、魅力をつぶさに見ることができます。



本堂内



金堂内

当社の“自然光 LED”は、これまでに奈良国立博物館の特別展「源頼朝像（国宝）」や正倉院展での「瑠璃坏」の展示用照明として採用されてきました。“自然光 LED”の特徴である展示品本来の色を再現できる演色性の高さと展示品の損傷に配慮した照明設計を高くご評価いただき、今回の特別展でも採用いただきました。

シーシーエスは、今後も展示品本来の美しさや魅力を伝えるため「自然光 LED」の普及に努めてまいります。

※:平均演色評価数(Ra)とは、照明光による物体の色再現性についての良し悪しを表す代表的な指数です。ある光源のもとで、各物体の色彩が基準光源による照明とまったく同じ色彩に見える場合、その光源の Ra は 100 になります。色再現性が悪化するほど Ra の値は小さくなります。なお、Ra は色の再現性に対する忠実度を表した指数で、主観的な色見え方に対する好ましさを表すものではありません。

■ 奈良国立博物館について

仏教美術を中心とした文化財の収集、保管、研究、展示を行うとともに、講演会や出版活動などを通じた普及活動を行うことを主たる活動内容としています。展示施設は本館、本館附属棟、東新館、西新館、地下回廊があり、このうち本館は、赤坂離宮（迎賓館）などを手がけた宮廷建築家・片山東熊の設計により 1894 年（明治 27 年）に竣工したもので、明治期の洋風建築の代表例として国の重要文化財に指定されています。

○奈良国立博物館の詳細については、以下をご覧ください。

<http://www.narahaku.go.jp/>

○當麻曼荼羅完成 1250 年記念 特別展「當麻寺—極楽浄土へのあこがれ—」については以下をご覧ください。

http://www.narahaku.go.jp/exhibition/2013toku/taimadera/taimadera_index.html

■ 當麻寺について

飛鳥時代に創建され白鳳・天平様式の大伽藍を有する當麻寺は、金堂の弥勒仏や四天王、梵鐘などの白鳳美術を今に伝えるほか、古代の三重塔が東西一対で残る全国唯一の寺としても知られています。

○當麻寺の詳細については、以下をご覧ください。

<http://www.taimadera.org/>

■ シーシーエス株式会社について

シーシーエス株式会社は、1993 年に京都で工業用途での検査用 LED 照明メーカーとして創業以来、検査用 LED 照明の分野ではリーディングカンパニーとして、トップシェアを誇ります。

工業用途で培った照明の使い方により検査精度を高める技術「ライティングソリューション」を強みに様々な分野へ展開しています。2007年には、太陽光に近い光である「自然光 LED」を開発、光の質が求められる美術館や博物館などに最適な照明を提供しています。

○当社の詳細につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.ccs-inc.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

経営戦略グループ 広報・IR 担当 梶原、松田

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル

TEL:075-415-8291(広報) FAX:075-415-7724 E-mail:koho@ccs-inc.co.jp